

CIMAC EEC WG 国内対応委員会 第 32 回議事録案

1. 日時：2019 年 7 月 25 日(木) 13：30～16：40（於 虎の門東洋共同ビル 5 階会議室）

2. 出席者：〔名〕〔順不同、敬称略〕

主査 佐藤純一（IHI 原動機）

委員

原 啓樹（日本海事協会）

大橋 厚人（海上技術安全研究所）

黒瀬 康弘（商船三井フェリー）

島田一孝（三井 E&S マシナリー）

沢田 拓也（日本船用工業会）

伊藤 和久（シヅカ・エンジン・コーポレーション）

見上 博（内航総連）

小林 喜美頼（ヤンマー）

増山 雅一（NS ユナイテッド内航）

山本 寛一（川崎重工）

花本 健一（ダイハツディーゼル）

山田 知夫（日本内燃機関連合会）

佐々木 慶典（WG19 主査）（ヤンマー）

川上 雅由（日本内燃機関連合会）

上原 由美（日本内燃機関連合会）

3. 配布資料

32-1 第 31 回議事録案

32-2 CIMAC WG5 第 64 回国際会議

32-3 IMO 報告

32-4 EU Stage V（内陸水路）

32-5 北米の規制動向

32-6 アジア規制動向

32-7 陸用プラント規制動向

32-8 TA-Luft と BimSch44 の状況

32-9 MEPC 74-7-6 - alternative low-carbon zero-carbon fossil-free fuels

32-10 中速エンジンの PM

32-11 Thinkstep LNG LCA study - Exec summary

4. 日内連 山田専務理事退任あいさつ

9 年 10 ヶ月間におよび日内連活動に尽力され、退任のあいさつと新たに川上さんが専務理事に 8 月から就任される報告があった。

5. 前回議事録確認（資料 32-1）

佐藤が議事録案の報告を行い、承認された。

6. 議事 佐藤の司会により、次の議事を行った。

6.1 2019 年 6 月に開催された WG5 国際会議報告（佐藤主査）

資料 32-2～32-11 に基づいて、以下報告を行った。

(1) IMO 動向

EU サステナブル シッピング フォーラム（ESSF）、MEPC 74 概要、IMO 下の機関と SCR システム、EEDI 下の軸出力の制限、ブラックカーボン（BC）の PPR6 と MEPC74 の結果、IMO GHG 戦略などの報告を行った。

質疑 1 :

納入初期でなく運航後のオンボードのガス計測の 3 ヶ月毎の結論はどうか。

→船級、監督諸官庁に確認が必要である。

質疑 2 :

B C の規制時期はいつか。

→PPR7 で見えてきて 2021 年の MEPC77 で最終報告が行われる予定である。

(2) EU 内陸河川規制動向

- ・ EU Stage V(内陸水路)で内陸水路用主機 (IWP)、内陸水路用補機 (IWA) のカテゴリーや出力別の日程が示され、Stage Vは 2019 年から開始される。出力により排ガス規制値が US EPA と異なる。300kW 以上では PM 数と DPF が要求される。
- ・ インサースビスモニタリング (ISM)を要求していることを紹介した。

(3) 北米の規制動向

EPA-CARB のフォーカス (ハイウェイ、ノンロード)、EPA-CARB NMNEHC、ニュージャージーの SI 機関の排ガス、カナダの状況などを紹介した

(4) アジアおよび日本の規制動向

日本の陸船の排ガス規制動向、中国沿岸と河川の規制動向を紹介した。

質疑 1 :

中国で実際に S 分の検査をしているのか。

→監督諸官庁がログを確認する。

(5) 陸用プラント規制動向

EU Medium combustion Plant Directive、CEN-EN 16726 ウェッベ指数改訂プロセス (高カロリーガス) の動向について紹介した。

(6) TA-Luft and BImSchV 44 の状況

ドイツの排ガス規制 BImSchV 44、BImSchV 13、TA-Luft の状況について紹介した。

(7) WG5 のペーパーについて

WG5 としてのペーパー発行について議論され、議長が可能なトピックスのドラフトを作成することに合意し、最も適切なトピックや内容についてメールベースで情報交換する事になった。内容により委員の協力をお願いする事を説明した。

6.2 IMO MEPC74 結果（島田委員）

(1) IMO MEPC74 結果

BC 規制：PPR の小委員会にて定義され、計測方法、削減手法の最終報告を受領した。

電子レコードログブックと ICE クラスの EEDI の修正などが採択された。

SO_x 関係で、燃料サンプルの規定（MALPOL でデリバリー、インユース、オンボードの 3 種のサンプル）が MEPC74 で承認され、MEPC75 で採択予定である。

EEDI フェーズ 3 の改正案が MEPC74 で承認された。MEPC75 にて採択予定である。

EEDI フェーズ 4 の CG が設立された。

フランスからプレゼンで地中海 ECA を本年度中に方針を決定する情報提供があった。

EGCS の故障時のガイダンスが採択された。

燃料油の供給側のベストプラクティスが改正されライセンス制度の議論が追加される。

質疑 1：

EGSC の故障の主管庁の報告。SCR の故障はどうか

→ガイドラインにすると反対する国がある。報告の上、主管庁の判断としている。

質疑 2：

燃料油の品質はどうか

→現時点では明確ではない

質疑 3：

ベストプラクティスはだれが作るのか。

→CG で既に作成している。

7. その他

(1) 次回の WG5 国際会議は 12 月のマリテックチャイナ期間中に開催予定である。

(2) CIMAC 内陸河川船舶 WG19 動向（WG19 国内対応委員会主査）

・2019 年 6 月に開催された国際会議の概要について報告した。

・次回の WG19 国際会議は 12 月のマリテックチャイナ期間中に開催予定である。

8. 次回の開催は 2020 年 3 月 19 日（木）13:30～を仮日程とした。

以上